

設計方針

士別市本庁舎整備基本計画に掲げる基本方針に基づき、永きにわたり市民に親しまれ、安全と安心を守る、オンリーワンの士別新庁舎をめざします。

基本方針1：全ての人が利用しやすい庁舎 誰もが利用しやすいフロア完結型のコンパクト庁舎

「見通しが良い」「行き先がわかりやすい」「移動距離が短い」「連携が良い」「バリアフリー」庁舎を基本理念として、市民・職員・議員全ての人が利用しやすく働きやすいフロア完結型のコンパクト庁舎とします。

基本方針2：市民の生命と財産を守る、安全・安心な庁舎 災害時においても業務を停止させない防災庁舎

災害時、市民を守る防災庁舎として活動するため、「壊れない」「倒れない」「自立する」庁舎を基本理念とし、構造体および非構造部材の耐震化や、電気・水の二重化を図り、市民に安心を与える防災庁舎とします。

基本方針3：士別らしさが感じられ、親しまれる庁舎 市民協働や市民交流が活発に展開されるコミュニティ庁舎

市民と行政が「協働」「交流」「参加」できる場と仕組みを創ることで、市民活動が庁舎を創り、市民活動が庁舎の顔となるコミュニティ庁舎とします。

基本方針4：機能的・効率的で、将来変化に対応できる庁舎 将来の組織改変に対応できるオープンオフィス＋スケルトン・インフィルの庁舎

将来の「変化」「更新」への対応が容易にできることをめざし、間仕切りのない執務室を採用。躯体（スケルトン）と内外装・設備機器（インフィル）を切り離すことで、改修・設備更新が容易となる庁舎とします。

基本方針5：環境にやさしく、経済的な庁舎 地域特性を活かした環境配慮型庁舎

年間を通し寒暖差が大きく、比較的日照時間が短いという地域特性や自然の恵みをうまく利用した環境配慮型庁舎とします。



【旧パース図】



鳥瞰パース



パース（北西より）

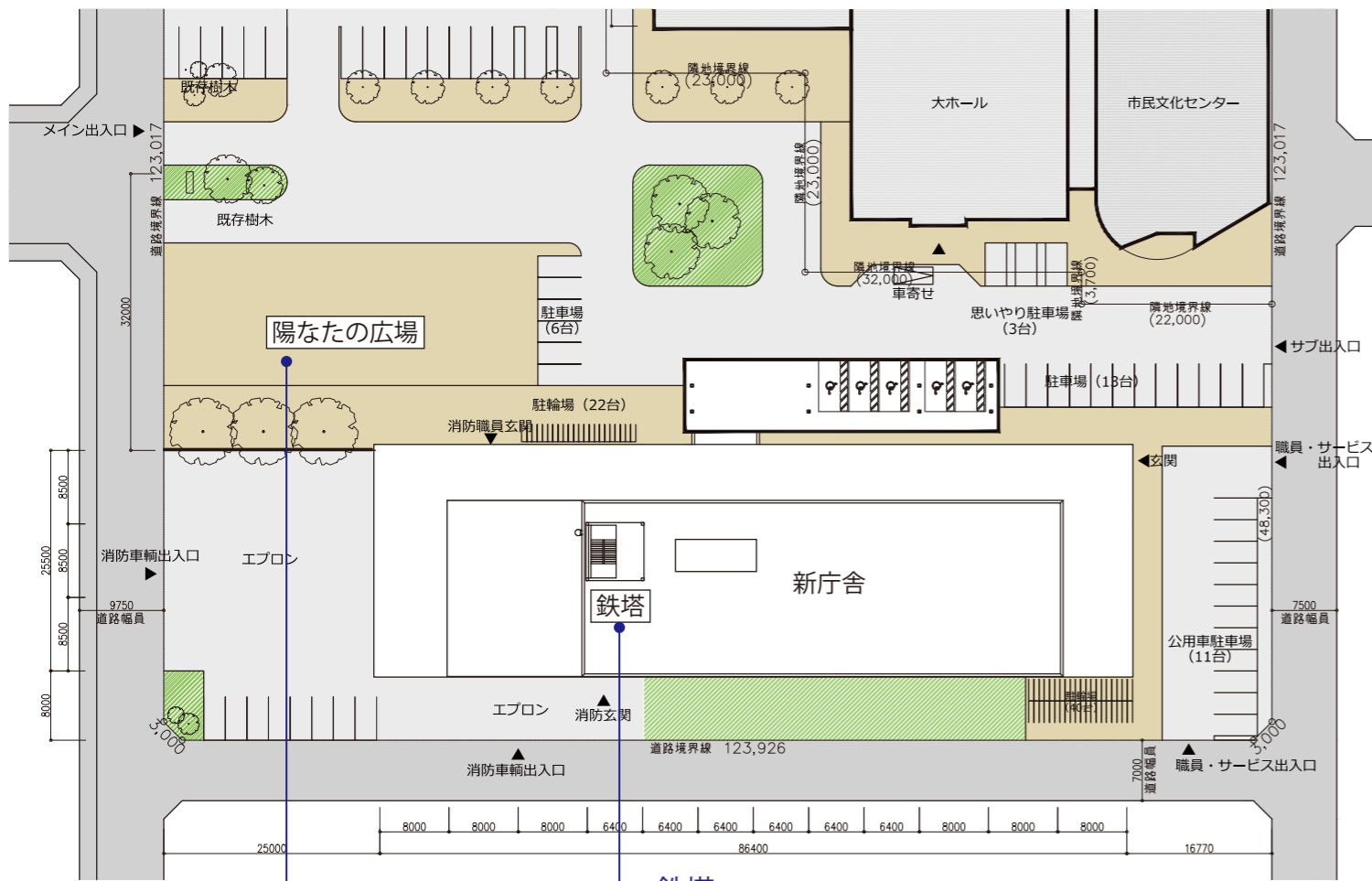
【新パース図】

技術提案からの主なプラン変更

- ①陽なたの広場の配置変更
- ②鉄塔の配置変更

配置計画の変更

技術提案配置計画 (2017年公告の基本設計図書をベース)



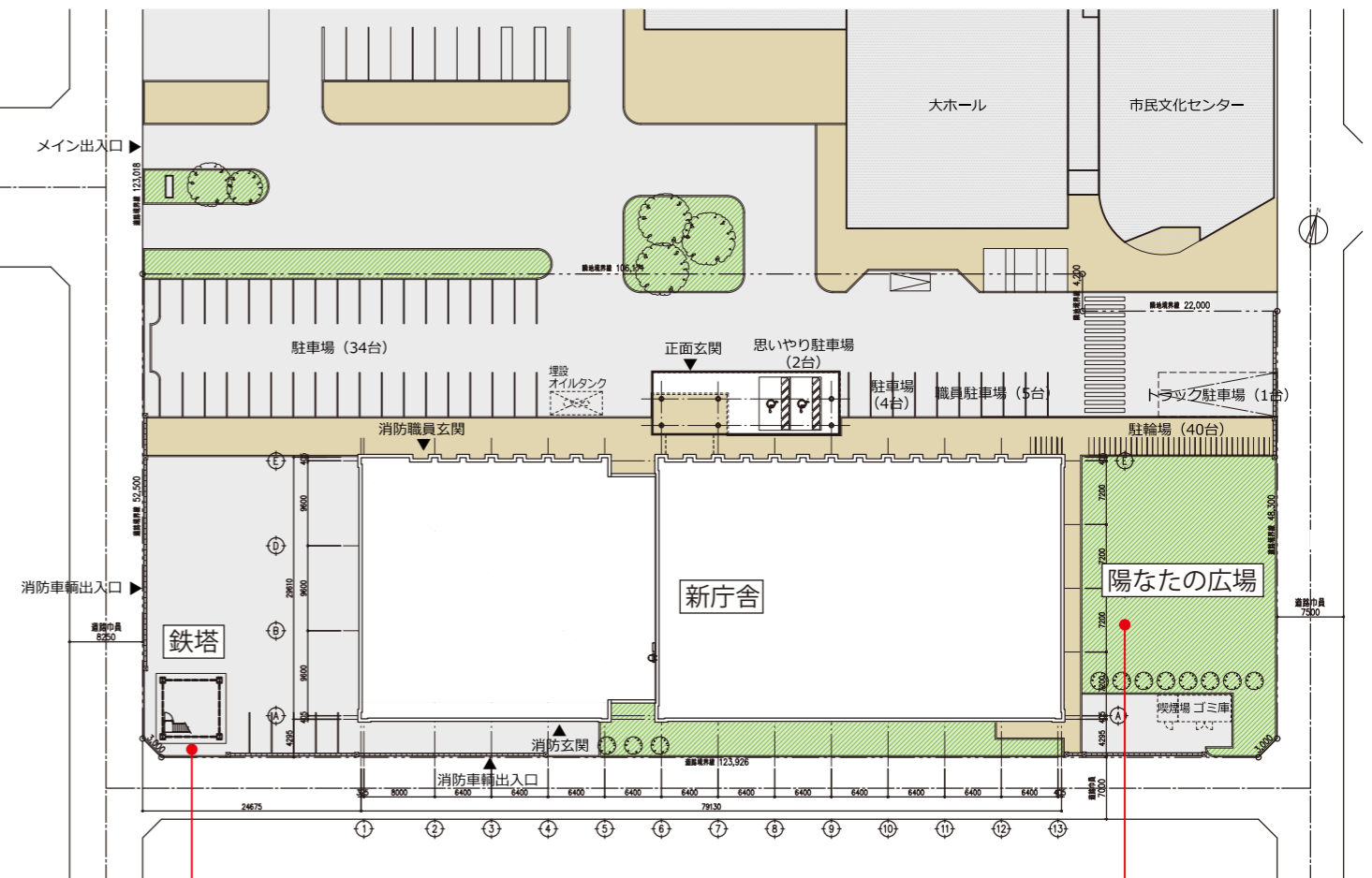
陽なたの広場

- ・建物の影となる北側に配置
- ・市民文化センターから離れた位置に配置

鉄塔

- ・建物上部に配置

変更配置計画



鉄塔

- ・地上に配置
- ・消防の訓練塔として活用

陽なたの広場

- ・日のあたる南東側に配置
- ・市庁舎、市民文化センターに近接させ使い勝手が向上

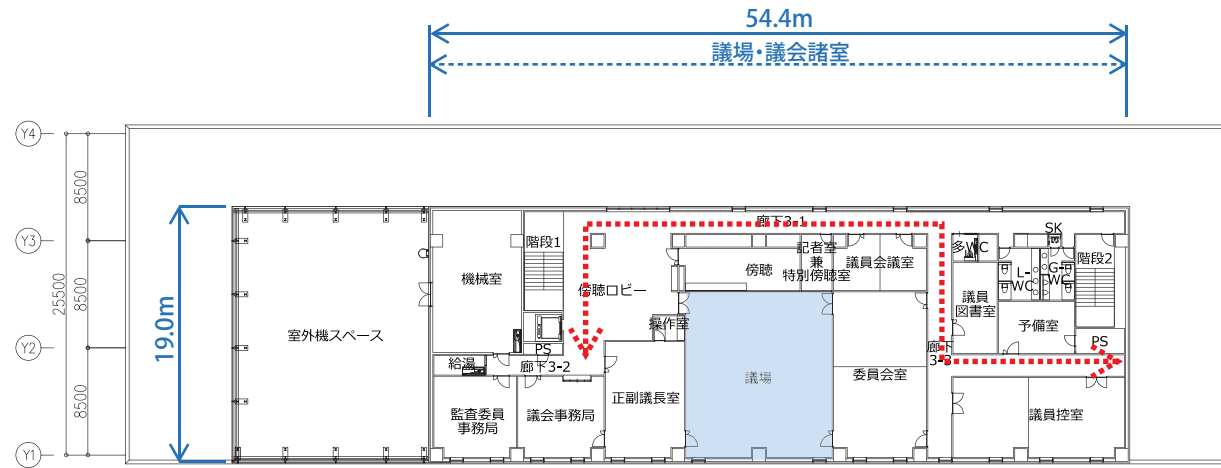
技術提案からの主なプラン変更

- ① 建物形状を南北方向に拡大、東西方向を縮小・・・動線の整理（見通し良く、わかりやすい動線）
- ② 各室面積の見直しによる必要スペースの確保・・・（約 435 m²増）

主なプランの変更、面積の変更

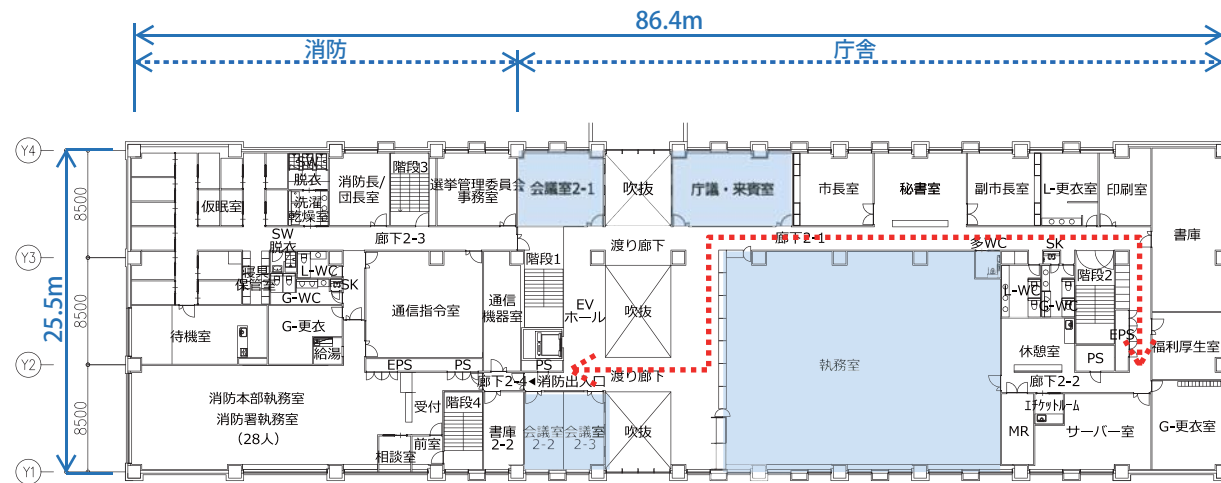
技術提案配置計画 (2017年公告の基本設計図書をベース)

5,472m²



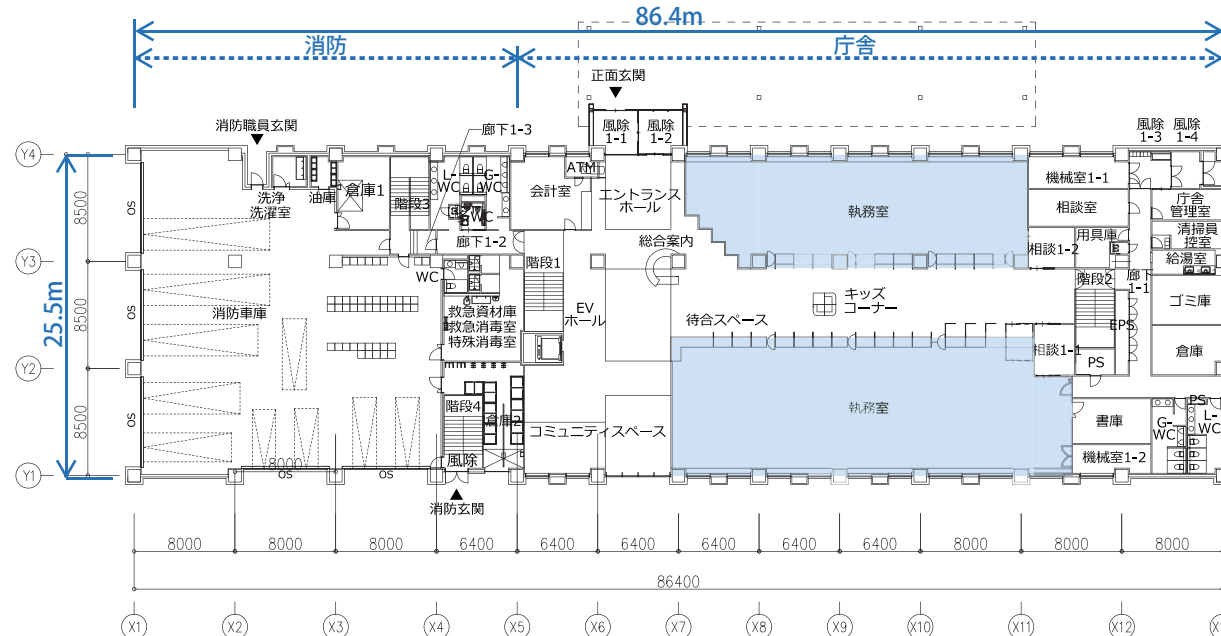
- 3階 変更ご要望・課題
- ・動線が長く、クランクしている
- ・議場まわりの諸室配置が効率的でない
- ・トイレの位置が分かりにくい

< 3階平面図 >



- 2階 変更ご要望・課題
- ・動線が長く、クランクしている
- ・会議室の配置にまとまりがない
- ・トイレの位置が分かりにくい

< 2階平面図 >

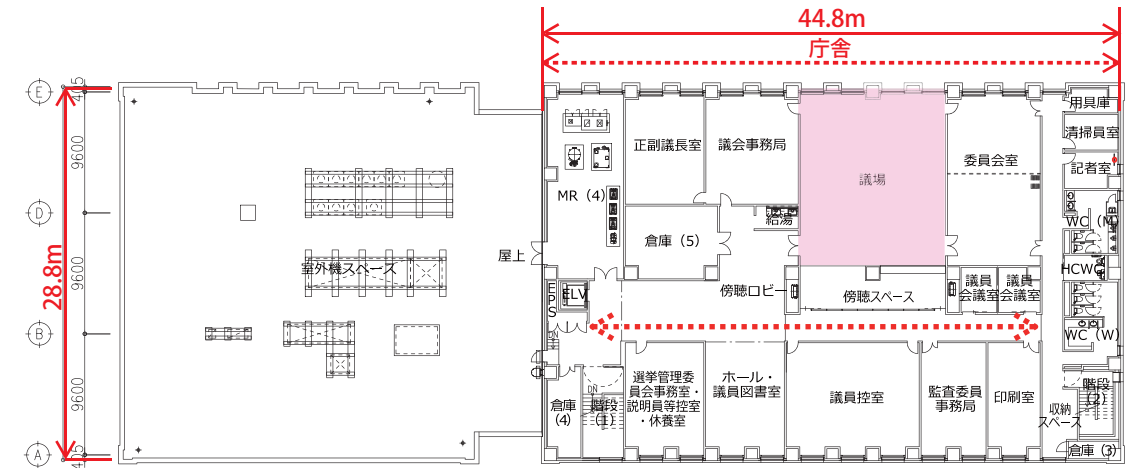


- 1階 変更ご要望・課題
- ・執務室、カウンター前が狭い
- ・階段の奥に諸室があり見通しが良くない
- ・トイレの位置が分かりにくい

< 1階平面図 >

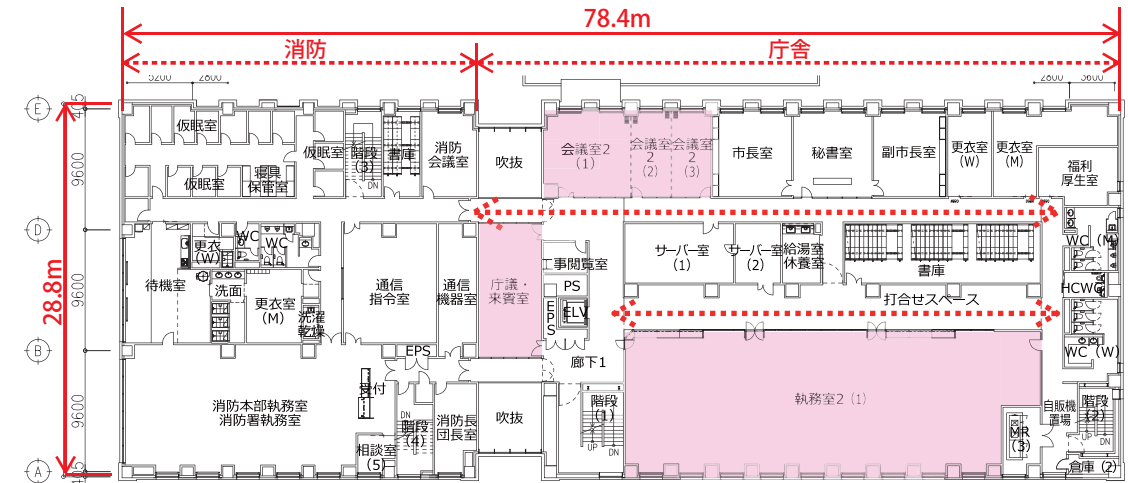
変更配置計画

5,907m²



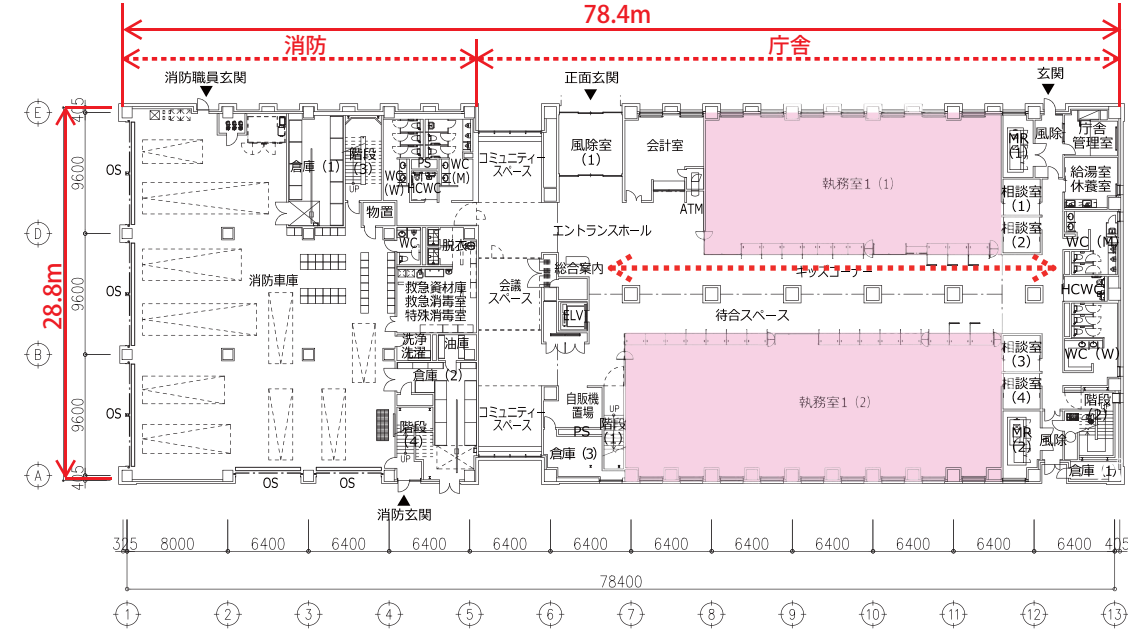
- 3階 主な変更内容
- ・直線的な動線、見通しを確保
- ・議場まわりに必要諸室を配置
- ・見通しのきく位置にトイレを配置

< 3階平面図 >



- 2階 主な変更内容
- ・執務室カウンター前スペースを確保
- ・会議室の配置を集約
- ・吹抜を介して市役所・消防を明確にゾーニング

< 2階平面図 >



- 1階 主な変更内容
- ・執務室、カウンター前スペースを確保
- ・見通しのきく位置にトイレを配置

< 1階平面図 >